

第6学年 国語科学習指導案 【公開授業Ⅱ】

児童 6年1組 男15名 女17名 計32名

指導者 曾根田 達 浩

1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを発信しよう

2 教材名 「平和のとりでを築く」 (光村図書「国語6年下 希望」)
「自分の考えを発信しよう／インターネットと学習」

3 単元について

(1) 教材について

第5学年及び第6学年の「読むこと」領域における目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる」ことである。これを受けて、本単元では、「エ 書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと」「イ 目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること」が学習内容の中心となる。

第1教材「平和のとりでを築く」は、原子爆弾によって「傷だらけ」となった物産陳列館が、多くの人々の平和を願う心によって、世界遺産「原爆ドーム」となった経緯を述べた文章である。本教材は大きく3つのまとまりから構成されている。はじめに「原爆ドーム」に対する筆者の思いが語られ、次に「原爆ドームがたどった歴史」と「世界遺産への道のり」が編年体で説明され、最後に平和を願う筆者の思いがまとめられている。文と文、段落と段落の関係も比較的とらえやすい文章になっている。

「原爆ドーム」の話題から世界の平和を強く願う筆者の思いが明確に表されているこの文章は、未来の一員である6年生の児童に「平和」について考えさせるとともに、事象と感想、意見の関係を押さえたり、要旨をとらえたりするのに適した教材である。

第2教材「自分の考えを発信しよう／インターネットと学習」は、「平和」というテーマにかかわって多様な材料を集め、自分なりの考えをもち、発信していく表現能力を高めていくことができる教材である。

(2) 児童について

児童は、6年生になってからこれまでに、「生き物はつながりの中に」で文章に即して段落ごとに要点をとらえたり、重要語句や中心文から説明文全体の文章構成を読み取ったりする学習をしてきた。また、筆者の考えを読み取り、それに対する自分の考えをもつという学習もしてきている。しかし、個々の読みには差が大きく、文章全体の要旨をまとめたり、文章構成をとらえたりできる児童、また、筆者の考えに対して、自分はこう考えるというように、積極的に自分の意見をまとめられる児童は少ない。

レディネステストの結果では、筆者の考えをつかむ問題が出来ているのは約半数であった。誤答の多くは筆者の「考え」ではなく、同じ段落にある「事例」の方を選んでいるものが多かった。そこで、スキルタイムでは、事例と筆者の考えを区別してとらえたり要旨をとらえたりする学習を行った。

(3) 指導にあたって

「平和のとりでを築く」では、筆者の訴えたいことを読み取り、それについて自分の考えをもつことをねらいとし、学習を進める。筆者の考えを読み取るために、重要語句や指示語・文末表現に着目しながら、筆者の考えと事実とを区別し叙述に即して正確に読み取り、文章構成をつかむことができるようにさせたい。また、「原爆ドーム」の表現の違いや保存を願う人々の広がりに着目しながら、「原爆ドーム」が世界遺産に指定されるまでの過程を理解し、「原爆ドーム」について筆者がどのように考えているかを読み取らせたい。そして、筆者が読者に訴えていることについて、自分はどう考えるかを自分なりにまとめ、互いに交流することで、後半では「平和」に対する自分の考えを発信する活動へとつなげていきたい。

4 単元の目標

- 〈関心・意欲・態度〉・筆者の伝えたいことに対して自分なりの考えをもって読んだり話し合ったりしようとする。
- ・筆者の伝えたいことに対して自分なりの考えをもって、意見文にまとめようとする。
- 〈書くこと〉
- ・自分の考えを明確に表現するために、効果的な文章の組み立てを考えることができる。(ウ)
 - ・事実と意見を区別して書いたり、自分の考えが読み手に分かりやすく伝わるように書いたりすることができる。(エ)
- 〈読むこと〉
- ・「平和のとりでを築く」という題名が意味することを押さえながら読むことができる。(イ)
 - ・筆者の考えをまとめ、自分はどのように考えるかをまとめることができる。(エ)
- 〈言語事項〉
- ・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。
- (オー (ア))

5 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
①筆者の伝えたいことに対して、自分なりの考えをもって読んだり話し合ったりしようとしている。 ②筆者の伝えたいことに対して、自分なりの考えをもって、意見文にまとめようとしている。	①自分の考えを明確に表現するために、効果的な文章の組み立てを考えている。 ②事実と意見を区別して書いたり、自分の考えが読み手に分かりやすく伝わるように書いたりしている。	①「平和のとりでを築く」という題名が意味することを押さえながら読んでいる。 ②筆者の考えをまとめ、自分はどのように考えるかをまとめている。	①文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。

6 学習指導計画（全14時間 読7 書7）

過程	段階	時間	学習活動	教師の支援	具体的評価規準 (評価方法)
追 究 の 過 程	第 一 次	1	○単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。 ○新出漢字の読み書きを学習する。	・戦争や平和に関して知っていることや思っていることを交流することで、単元への興味・関心を高めることができるようにする。	関①戦争や平和に関して知っていることや思っていることを発表しようとしている。（発言・態度） 読①単元全体の構成をつかんでいる。（ノート）
		1	○「平和のとりでを築く」を読み、学習計画を立てる。 ○難語句の意味を調べる。	・「平和のとりで」という題名に着目させ、問題意識をもてるようにする。 ・筆者の投げかけから、読みの課題へとつなげることができるようにする。	読①書かれている内容を読み取り、感想をもっている。（ノート）
	第 二 次	1	○意味のまとまりに分けて文章構成をつかむ。	・こそあど言葉や文末表現を手がかりにして、考えることができるようにする。	読①書かれている内容をつかみ文章構成をつかんでいる。（ノート） 言①文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。（発言）
		1	○「原爆ドーム」がたどった歴史についてまとめる。 ②～⑧段落	・「1915年」「1945年」「戦後間もなく」「1960年」という時を表す語句に着目し、読み取ることができるようにする。	読①書かれている内容について事実と意見の関係を押さえて読んでいる。（ノート・発言）
		1	○「原爆ドーム」の世界遺産への道のりについてまとめる。 ⑨～⑪段落	・「1992年」「1996年」「不安」「心配は無用」という言葉から、世界遺産への道のりをとらえることができるようにする。	

		1 (本時)	○筆者が伝えたいことについて読み取る。 ⑫～⑬段落	・「平和のとりでを築く」という叙述の意味するところを考えることができるようにする。	読①「平和のとりでを築く」という題名が意味することを押さえながら読んでいる。 (ノート・発言)
		1	○筆者の伝えたいことに対する自分の考えをまとめ、交流する。	・これからの自分がどうしていきたいのかが、伝わるように、根拠を明らかにしながらまとめることができるようにする。	読②筆者の考えをまとめ、自分はどのように考えるかをまとめている。 (ノート・発言)
発展の過程	第3次	1	○戦争や平和について話し合い、学習計画を立てる。	・学習計画をもとに、意見交流会への進め方の見通しがもてるようにする。	関①筆者の伝えたいことに対して、自分なりの考えをもち「平和」について関心をもって話し合ったり、意見文にまとめたりしようとしている。 (ノート・収集資料) 書②「平和」についての自分の考えを書いている。 (ノート) 言①文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。 (意見文)
		2	○伝えたい相手、方法、調べ方を考える。 ○自分の伝えたいテーマについて調べる。	・教材文をもとに、相手、方法、調べ方を自分の考えをもとに選ぶことができるようにする。 ・自分の考えを「仮の要旨」としてまとめさせ、それを支えるための材料を集めることができるようにする。	関②自分の伝えたいテーマについて調べようとしている。 (観察・ノート) 書②自分の考えを書いている。 (ノート)

第 四 次	1	○意見文を書く。	・文末表現や段落と段落のつながりに気を付けることができるようにする。	書①自分の考えを明確に表現するために、効果的な文章の組み立てを考えている。 (意見文) 書②事実と意見を区別して書いたり、自分の考えが読み手に分かりやすく伝わるように書いたりしている。 (意見文)
	1	○意見文を推敲する。	・推敲のポイントを示し、自力で推敲できるようにする。	
	1	○意見交流会を行う。	・お互いの考えを知ること、多様な考え方があることに気付くことができるようにする。	関①平和について関心をもって聞いている。 (ノート・観察) 書②多様な考えを聞いて、気付いたことを書いている。 (ノート)
	1	○学習を振り返る。	・単元での学習を振り返ることで、自分なりの思いや考えが深まってきたことを感じ取ることができるようにする。	関①課題に沿って追及してきた学習の仕方や自分の考え方に対して、達成感・満足感を感じたり、学習した意味を見出したりしている。 (観察・発言) 書②学習を振り返り、自分なりの考えを書いている。 (ノート)

7 本時の指導

(1) 本時の目標

○文章構成や重要語句に着目し、筆者が読者に伝えたいことについて読み取ることができる。

(2) 研究主題にかかわって、語句に着目した指導の工夫

○「平和のとりでを築く」という語句や、文末表現が「～なのだ」と強く言い切っていることなどに着目させ、筆者の伝えたいことについて、読み取ることができるようにする。

○「記念碑」から「世界の遺産」へと言い方が変わっていることに着目させ、中心となる段落を見つけることができるようにする。

(3) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点
つかむ 5分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 筆者は、どのような考えをもち、何を伝えたいのだろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに学習した「原爆ドーム」の保存を願う人々の広がり振り返る。
追究する	3 課題解決のための見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えと伝えたいことが書いてある部分を確認する。 4 学習場面を音読する。(一斉読) 5 課題に迫るための読み取りをする。 (1) ⑫段落にある筆者の考えを読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・「記念碑」という言葉に着目し、どのような考えが込められているか考え、何を、誰に伝えているのかの部分にサイドラインを引く。 (2) ⑬段落にある筆者の伝えたいことを読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・「平和のとりでを築く」という中心語句の意味を考える。 (3) 筆者の伝えたいことをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・⑬段落と板書を中心にして、筆者の伝えたいことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(話題提示—説明—まとめ)の文章構成を確認する。 ・12段落に考えが、13段落に伝えたいことが書いてあることを確認する。 ・筆者の考えがわかる言葉に着目しながら読むようにさせる。(⑫⑬段落) ・記念碑＝(ある事柄を思い出に残すために建てられるもの)という意味から考えて、何を(過去の事実と未来への警告)誰に(わたしたち、世界の人々)残すのかを考えさせたい。 ・題名との関係や文末表現などから⑬段落に筆者の伝えたいことがより強く表れていることを確認する。 ・「戦争は人の心の中で生まれる」とは、どういうことなのか考えさせる。 ・「心の中にとりでを築く」とは、どういうことなのか理解できるよう図等を利用して説明する。 ・⑫⑬段落を関連付けてまとめさせる。

33分	<p style="text-align: center;">具体の評価規準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 35%;">A：十分満足</th> <th style="width: 35%;">B：概ね満足</th> <th style="width: 15%;">努力を要する児童への支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">読む能力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・「平和のとりでを築く」という題名が意味することを押さえながら、筆者の伝えたいことをまとめ、それに対する自分の考えをもっている。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・「平和のとりでを築く」という題名が意味することを押さえながら、筆者の伝えたいことをまとめている。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・板書を手がかりにしなが ら、「平和のとりで」「世界の遺産」というキーワードを使ってまとめるように助言する。 </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・机間指導や発表の様子により観察する。 </td> </tr> </tbody> </table>				A：十分満足	B：概ね満足	努力を要する児童への支援	読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ・「平和のとりでを築く」という題名が意味することを押さえながら、筆者の伝えたいことをまとめ、それに対する自分の考えをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「平和のとりでを築く」という題名が意味することを押さえながら、筆者の伝えたいことをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・板書を手がかりにしなが ら、「平和のとりで」「世界の遺産」というキーワードを使ってまとめるように助言する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導や発表の様子により観察する。 		
		A：十分満足	B：概ね満足	努力を要する児童への支援											
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ・「平和のとりでを築く」という題名が意味することを押さえながら、筆者の伝えたいことをまとめ、それに対する自分の考えをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「平和のとりでを築く」という題名が意味することを押さえながら、筆者の伝えたいことをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・板書を手がかりにしなが ら、「平和のとりで」「世界の遺産」というキーワードを使ってまとめるように助言する。 												
	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導や発表の様子により観察する。 														
まとめ 7分	<p>6 まとめの音読をする。(一斉読)</p> <p>7 本時の学習を振り返る。</p> <p>8 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の伝えたかったことを確認しながら読む。 ・学習して分かったことや感じたこと、学習の仕方などについて振り返る。 ・筆者の伝えたいことに対する自分の考えをまとめ、交流することを知らせる。 													

(4) 板書計画

○人の心の中に平和のとりでを築く。

二度と戦争をしない
核兵器は二度と使つてはいけない
戦争を許さない気持、平和を守る強い意志をもつこと

原爆ドームは
だれに 世界の人々に
何を 核兵器の使用禁止を

平和のとりでを築く
大牟田 稔

筆者は、どのような考えをもち、
何を伝えたいのだろう。

⑫ 痛ましい姿の原爆ドームは、原子爆弾が人間や都市にどんな被害をもたらすかをわたしたちに無言で告げている。未来の世界で核兵器を二度と使つてはいけない、いや核兵器はむしろ不必要だと世界の人々に警告する
記念碑なのである。

⑬ 国連のユネスコ憲章には、「戦争は人の心の中に生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」と記されている。原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための**世界の遺産なのだ。** **題名と同じ言葉**

教材分析表

単元名 二 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

教材名 平和とこころを築く (栄村図書「国語 6 年下 希望」)

(関心・意欲・態度)

・筆者の伝えたいことに対して自分なりの考えをもって読んだり話し合ったりしようとする。

・筆者の伝えたいことに対して自分なりの考えをもって、意見文にまとめようとする。

(書くこと)

・自分の考えを明確に表現するために、効果的な文章の組み立てを考えることができる。(F)

・事実と意見を区別して書いたり、自分の考えが読み手に分かりやすく伝わるように書いたりすることができる。(H)

(読むこと)

・「平和のとりでを築く」という題名が意味することを掘り下げた読みとすることができる。(I)

・筆者の考えをまとめる、自分はそのように考えるかをまとめることができる。(H)

(言語事項)

・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。(オI)(ア)

要旨	原爆ドームは、後世まで、それを見る世界中の人々の心に、核兵器の使用禁止、さらには戦争を語りず、平和を守つていく強い意志を築くための遺産なのである。			
意味	文章構成	着目させたい語句		
段落形式	文章構成	中心語句・中心文		
I 話題提示	原爆ドームへの筆者の思い	① 原爆ドーム＝平和を築き、戦争をいましめるための建造物＝ユネスコの世界遺産  わたしは、建築されてからこの日まで、この爆たげの建物がたどつてきた年月を思わずにはいられなかった。	・原爆ドーム ・平和を築き ・ユネスコの世界遺産 ・わたしは	・わたしは、思わずにはいられなかった。
	原爆ドームがたどってきた歴史	② もともとは、物産陳列館 ・ヨーロッパ出身の若い建築家が設計した鉄骨・れんが造りの三階建て ・建物の真ん中には、楕円形の丸屋根(ドーム) ③ ・小さいながらひととき自立つ建物 ④ ・多くの市民に親しまれていた。 ⑤ ・一九四五年八月六日、原子爆弾投下 ⑥ ・爆心地に近かったこの建物は、たちまち炎上 ⑦ ・れんがと鉄骨の一部が残った。 ⑧ ・丸屋根の部分は、支柱の鉄骨がドームの形になった。 原爆ドームの保存 ⑨ 「あの輝かしい産業奨励館だけが、いつまでも、恐らくは原爆のことを後世に訴えかけてくれるだろう!」 ⑩ 原爆ドーム永久保存 ・保存を願う手紙や寄付、補強工事、今の形を保っている。 原爆ドームは、もともと、物産陳列館として建てられ、多くの市民に親しまれていた。一九四五年の原爆投下によつて、この建物は全壊し、れんがと鉄骨の一部を残すだけとなった。「一刻も早く取り壊してほしい」という意見も出たが、急性白血病で亡くなった少女の日記がきっかけで、原爆ドームは永久保存されることになった。	・一九一五年 ・一九四五年 ・戦後間もないころ ・一九六〇年	・原爆ドーム ・物産陳列館 ・原爆投下 ・部を残す ・少女の日記 ・永久保存
II 説明1	原爆ドームがたどってきた歴史	② もともとは、物産陳列館 ・ヨーロッパ出身の若い建築家が設計した鉄骨・れんが造りの三階建て ・建物の真ん中には、楕円形の丸屋根(ドーム) ③ ・小さいながらひととき自立つ建物 ④ ・多くの市民に親しまれていた。 ⑤ ・一九四五年八月六日、原子爆弾投下 ⑥ ・爆心地に近かったこの建物は、たちまち炎上 ⑦ ・れんがと鉄骨の一部が残った。 ⑧ ・丸屋根の部分は、支柱の鉄骨がドームの形になった。 原爆ドームの保存 ⑨ 「あの輝かしい産業奨励館だけが、いつまでも、恐らくは原爆のことを後世に訴えかけてくれるだろう!」 ⑩ 原爆ドーム永久保存 ・保存を願う手紙や寄付、補強工事、今の形を保っている。 原爆ドームは、もともと、物産陳列館として建てられ、多くの市民に親しまれていた。一九四五年の原爆投下によつて、この建物は全壊し、れんがと鉄骨の一部を残すだけとなった。「一刻も早く取り壊してほしい」という意見も出たが、急性白血病で亡くなった少女の日記がきっかけで、原爆ドームは永久保存されることになった。	・一九一五年 ・一九四五年 ・戦後間もないころ ・一九六〇年	・原爆ドーム ・物産陳列館 ・原爆投下 ・部を残す ・少女の日記 ・永久保存
	世界遺産への道のり	⑪ 原爆ドームを世界遺産に 世界遺産・・・人間の歴史に大きな役割を果たした文化遺産 地球上にある貴重な自然遺産 原爆ドーム・・・戦争の被害を強調する遺跡 規模が小さい上、歴史も浅い遺跡 (認められるだろうか) 心配は無用だった。 わたしは、世界の人々の、平和を求める気持ちの強さを改めて感じたのだった。	・原爆ドーム ・世界遺産 ・一九九二年 ・一九九六年 ・わたしは	・私は、改めて感じたのだった。
III 説明2	世界遺産への道のり	⑪ 原爆ドームを世界遺産に 世界遺産・・・人間の歴史に大きな役割を果たした文化遺産 地球上にある貴重な自然遺産 原爆ドーム・・・戦争の被害を強調する遺跡 規模が小さい上、歴史も浅い遺跡 (認められるだろうか) 心配は無用だった。 わたしは、世界の人々の、平和を求める気持ちの強さを改めて感じたのだった。	・原爆ドーム ・世界遺産 ・一九九二年 ・一九九六年 ・わたしは	・私は、改めて感じたのだった。
	筆者の訴え	⑫ 原爆ドームは、 ・原子爆弾が人間や都市にどんな被害をもたらすかをわたしたちに無言で告げている。 ・未来の世界で核兵器を二度と使つてはいけない、いや、核兵器はむしろ必要だと、世界の人々に警告する記念碑なのである。 それを自分の心に平和のとりこを築くための世界遺産なのだ。	・原爆ドーム ・くひなのである ・くひなのだ	・記念碑 ・原爆ドームは、それを見る人の心に、世界遺産なのだ。
IV まとめ	筆者の訴え	⑫ 原爆ドームは、 ・原子爆弾が人間や都市にどんな被害をもたらすかをわたしたちに無言で告げている。 ・未来の世界で核兵器を二度と使つてはいけない、いや、核兵器はむしろ必要だと、世界の人々に警告する記念碑なのである。 それを自分の心に平和のとりこを築くための世界遺産なのだ。	・原爆ドーム ・くひなのである ・くひなのだ	・記念碑 ・原爆ドームは、それを見る人の心に、世界遺産なのだ。
文章構成図				